

扉の建てつけ調整方法

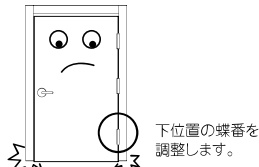
扉を開閉して、扉が当たる場合は、下記手順で蝶番を調整してください。

- 蝶番の調整には、必ず手動のプラスドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると金具破損の原因となります。
- 調整ねじは一気に回さず「微調整→ドアを開閉して確認」を繰り返し行ってください。

上下調整の方法

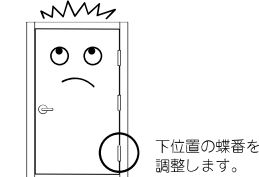
(上下調整範囲±2.5mm)

- ドアの下部が床にこするとき



下位置の蝶番を調整します。

- ドアの上部が上枠にこするとき



下位置の蝶番を調整します。

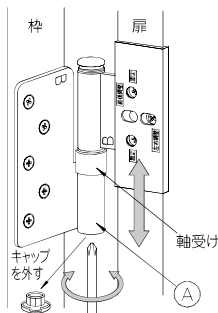
- ①扉下側の枠側プレートのキャップを外します。
- ②プラスドライバーで調整します。
上方向……………時計方向に回して下さい。



- 下方向……………反時計方向に回して下さい。



- ③調整が終わったら上側の蝶番の軸受けを手で下げます。
- ④外したキャップを取り付けます。



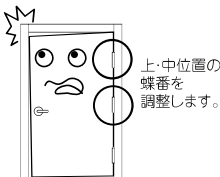
△注意

固定ビスは確実に締めつけてください。締めつけがゆるいと使用中に固定ビスがゆるみ、蝶番が破損したり扉が脱落するおそれがあります。

左右調整の方法

(調整可能範囲±2.0mm)

- ドアの上部が当たるとき



上・中位置の蝶番を調整します。

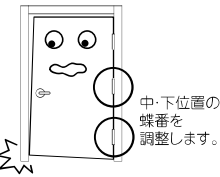
蝶番の固定ネジBを緩め、調整ネジDを調整し再び固定ネジBを締め付けます。
ハンドル方向へ移動



蝶番方向へ移動

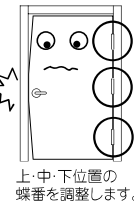


- ドアの下部が当たるとき



中・下位置の蝶番を調整します。

- ドアの中央部が当たるとき

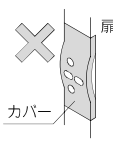


上・中・下位置の蝶番を調整します。

△注意

吊り元方向へ寄せる場合、調整範囲を超えて調整すると、扉と枠がぶつかりドアが閉まらないことがあります。以下の現象が見られる場合は、蝶番の破損や扉の脱落につながるおそれがありますので、適正な調整範囲に調整してください。

- ・扉側蝶番カバーが膨らんでいる。
- ・ドアをラッチ受けから外すと自然に前に飛び出てくる。



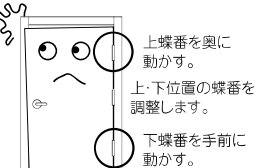
※蝶番は、2枚・3枚仕様があります。

上記は3枚仕様での調整方法です。2枚の場合は中位置の蝶番はありません。

前後調整の方法

(調整可能範囲±2.0mm)

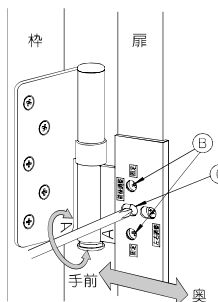
- ドアの下部は戸当りに当たっているが、上部が当たっていないとき



上蝶番を奥に動かす。
上・下位置の蝶番を調整します。

下蝶番を手前に動かす。

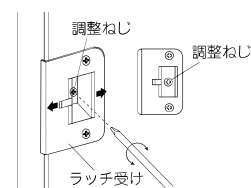
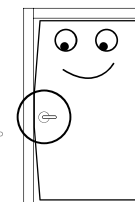
蝶番の固定ネジBを緩め、前後調整ネジCにて調整し、Bの固定ネジを締め付けます。



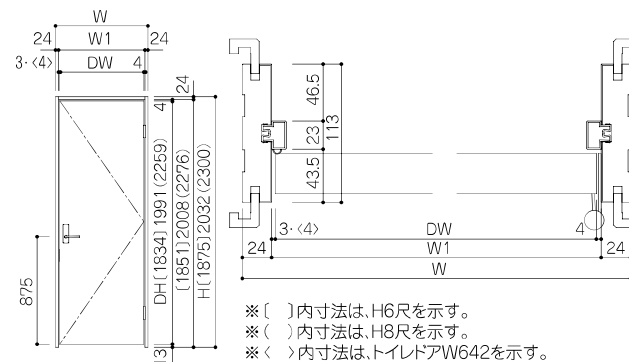
ラッチ受け調整の方法 (調整可能範囲±2.3mm)

- ラッチがラッチ受けに入らないとき
- ドアがガタつくとき

手動のプラスドライバーでラッチ受けの前後調整をします。

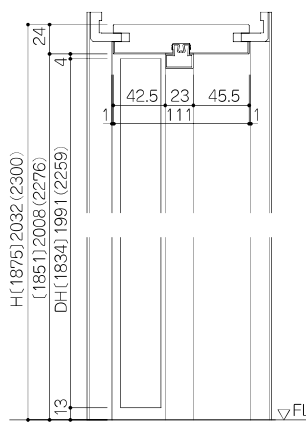


納まり図

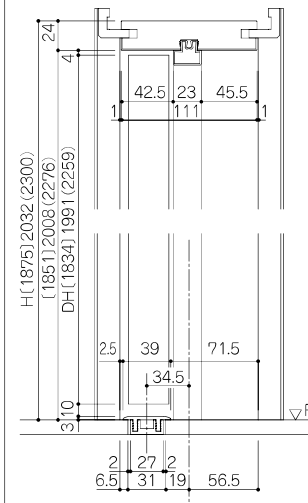


タイプ	W	W1	DW
バリアフリードア	872	824	817
メーターモジュールドア	850	802	795
一般ドア	780	732	725
	755	707	700
	735	687	680
トイレドア	642	594	586
親子ドア	1190	1142	725-407

- 沓摺を使用しない場合



- 樹脂製床見切りを使用する場合



- フラット沓摺を使用する場合

